

県政だより

静岡県弘報紙 1953年1月 第54号

昭和28年1月30日発行 昭和24年7月14日第三種郵便物認可

発行人
静岡県
発行所
編集人
静岡県総務部
弘報文化課
印刷所
静岡県営印刷所

私たちの県政の時間

朝の7時10分には、民謡放送アジョ静岡JOVR(1450キロサイクル)にダイヤルを廻して見て下さい。私たちの県政の時間を放送しております。

月曜日は時の話題、火曜日は農漁村の手引
水曜日は生活読本、木曜日は産業の栄、金曜
日は教育だより、土曜日は県庁アルバム、日
曜日はラジオ県政大学タイズ番組。

(⑤) 地山事業を強力に推進する。
⑥ 岐阜県道の補装を推進する。
⑦ 工場立地条件整備のため、工場用水、污水路、丁場用地造成等の総合の方針を確立する。
⑧ 生産性の基盤となる各種土地改良事業を積極的に推進する。
⑨ 耕地拡張のため、開拓事業を推進しあわせて、水没移転農家及び三男対策に着手する。
⑩ 河川開発地帯の造林などをはじめ、「は行け山一掃」を実現する。
⑪ 地山事業の美徳ならびに、山の文化を遂行するとともに、山の文化を保護する。

県や行う、今年の重要施策

◆—斎藤知事が描く構想—◆

この新聞は回覧してみんなでよみましょ。

A scenic view of a valley with a river, surrounded by mountains.

井川村西平構想圖

町歩を疊耕
方地とし、南
方の平坦地に
水田を造
成する、西
方船岡市から入つて来る
大木路沿いには一宅地
百五十坪を二列に五十宅
地作ります。うち部落の
普通畠、その後の急
斜面は茶畠とし、一戸当
りの新塀は水田三反歩
の面積で、その後は
水田も供せられ
るのです。他の
移転部落の村
は同じく計
画に基いて設計され
ていますが、どうでもあります
。(西山面は左方が鹿
ん。)(西山面は左方が鹿
ん。)

水道もある農家

水道もある農家

村作り、西山平の場合

新村づくりの構想図

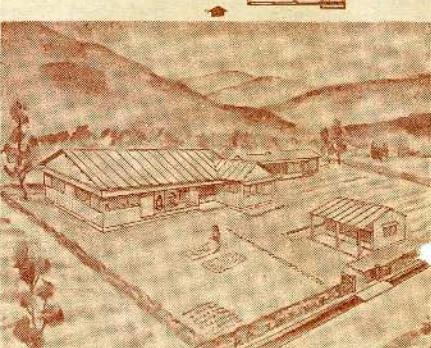
山地農業經營の指導

守れ文化財

適作物などについて専門を入れて農地調査により平百米ほど高いので、納山農業經營の方針を定め、これまでの耕作で収穫量のヒーとの他の難点を克服し、水稲、大豆類の主食の自給度をより多く、野菜の確保をより多く、野菜の強い上位を確立を入れて川根茶の生産をよく奨励するところになつてきました。また柿や桃、ラズベリーなどいずれも適作物と選ばれ、これらの山地大農学部から高島氏を招き師として常駐して實習となりました。

新都市の開拓は、必ずしも、その地の自然条件を考慮するに留まらず、社会的、経済的、文化的、政治的、軍事的、衛生的等の諸条件を総合的に考慮するものである。したがつて、新都市の開拓は、必ずしも、その地の自然条件を考慮するに留まらず、社会的、経済的、文化的、政治的、軍事的、衛生的等の諸条件を総合的に考慮するものである。

This floor plan illustrates the layout of a traditional Japanese residence (Yashiki). The main entrance (Fukinuki-mon) leads into the central hall (Dai-kyō), which is connected to the kitchen (Kōin) and the dining room (Shokuin). To the left is the master bedroom (Hokusho), and to the right is the study (Sōin). A corridor (Engawa) runs along the back of the house, leading to the rear entrance (Ryō-mon) and the laundry room (Sōshō). The front entrance (Hondō-mon) is located on the far left. The plan also includes a small room (Kōtō) and a storage area (Kōrō).



文化的農家の一例
上二五坪五の平面図
下百五十坪の宅地と配管

うらやましい
文化住宅

